

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICTの活用により、児童の動きを児童自身が確認でき、運動技術の向上につながった。
- ・学習カードを活用するとともにICTを用いた振り返りを取り入れたことで、児童の思考力、判断力、表現力を高めることができた。
- ・一校一取り組みとして長なわに取り組んだことで、運動技術の向上と目標に向かう姿勢の醸成につながった。

(2) 課題

- ・校庭の規模縮小に伴う休み時間の減少により児童の運動時間が減少し、児童の体力低下が懸念される。
- ・対象学年に応じたICT活用の更なる充実を図り、運動技能の向上、思考の深化を目指す。
- ・授業の流れを掲示し、児童の主体的な活動を促す。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動遊びを通して、基本的な動きを身に付けられるよう指導する。 運動の手本を視覚的に示し、より正確な動きの習得につなげる。 学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。	ICTを活用して、児童が自分の動き等を確認できるようにする。	動画や手本を示し、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにする。 学習カードを活用してめあての確認や振り返りが容易に行えるよう工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高学年の運動の特性につながる動きを身に付けられるよう、スモールステップで活動に取り組む。 学習の導入で運動の手本を視覚的に示し、正確な動きを理解したうえで活動に取り組めるようにする。 学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。	ペアまたは小グループでの活動時にICTを活用し、学び合いの活動の活発化を図る。 身近な生活における健康の課題を見付けるために、自分自身の生活を見直す時間を設定する。	学習意欲を高めるために、グループ編成や場、ルールを工夫する。 集団行動のきまりを守ることが徹底し、用具の正しい使い方や片付け方が視覚的に分かるようにするとともに指導を徹底する。 学習カードを工夫して、生活や健康について見付けた課題の解決方法を考えたり実践したりできるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各運動の特性に応じた技術を身に付けるために、ICT を活用し、視聴覚教材や手本となる動きを示す。示した教材は、児童がいつでも見返せるようにする。 単元の導入時に必ず運動の特性や技能のポイントが分かるよう視覚的な資料を用いながら説明する。 デジタル教科書やワークシートを活用し、生活や健康について正しい知識を身に付けられるようにする。 学年別のなわとびカードを用いて活動に取り組むことで体力の向上を図る。	ペアまたは小グループでの活動時にタイムシフトカメラ等の ICT を活用して、児童が自分の動き等を確認できるようにする。自分の動きと手本となる動きを比較し、よりよい動きや記録を目指すためにどうすれば良いか考えさせるようにする。 学習カードの代わりにクラスルームを活用し、学習の見通しをもたせるとともに、毎時間の振り返りを確実に進めるようにする。	学習意欲を高めるために、グループ編成や場、ルールを工夫する。 集団行動のきまりを守ることを徹底し、用具の正しい使い方や片付け方の指導を徹底する。 生活や健康について見つけた課題の解決方法を考えたり実践したりできるようにする。また、ICT を活用して、児童の考えを共有できるようにし、考えを広げることができるようにする。